

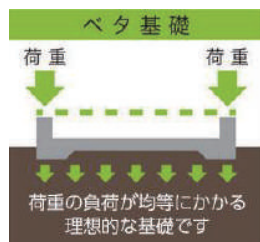
2×4・2×6工法

基礎 … 建物の安全性を向上し、湿気によるカビの発生を抑制

高耐久ベタ基礎



不同沈下に強い鉄筋コンクリートベタ基礎を採用しています。

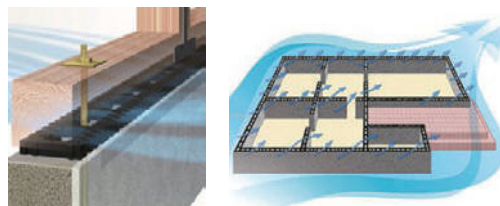


ベタ基礎は、一枚の大きなコンクリートの板の上に建物が載ることによって、地盤に対し家自体の荷重を均等にかけることができます。そのため、不同沈下の心配も少なくなります。

基礎パッキン工法の全周囲換気方法



基礎と土質土台をしっかり絶縁することが住まいの高耐久化につながります。



風上から風下へ、床下を自然換気で風が通り抜ける為、湿気がこもらず、シロアリを寄せ付けない環境を保ちます。

剛床工法 … 地震・台風時に強い床構造

水平面に剛床パネルで強度を確保



壁の構造を強くしても、床の剛性がなければ家は強くなりません。24mmの構造用合板を使用することで、建物のねじれに強く水平剛性が高く、耐震性能や耐風性能の向上に寄与しています。

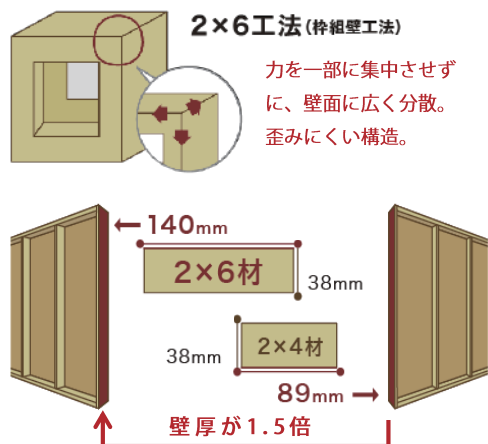
1階床：構造用合板 28mm



2階床：構造用合板 15mm

構造躯体 … 地震から家族と暮らしを守るために

2×6工法



2×6工法 (枠組壁工法)

力を一部に集中させずに、壁面に広く分散。歪みにくい構造。

■ 耐震性・耐風性

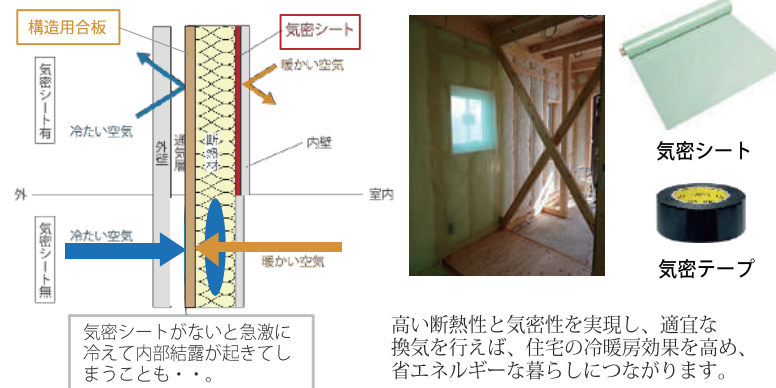
床・壁・屋根が一体となったモノコック構造のツーバイフォー住宅は、地震の揺れを6面体の建物全体で受け止めて力を分散させます。地震力が一部分に集中することがないため倒壊・損傷がなく、地震に対して抜群の強さを発揮します。外からの力やねじれに強く、地震や台風にも強い耐久性を発揮します。

■ 断熱性・気密性

2×6工法は魔法瓶の家と言われている程、断熱性・気密性の高い住宅です。構造用合板と防湿フィルムで外周部を覆い、窓には気密性の高いサッシを使用。2×4材に比べて壁厚は1.5倍にもなるため、断熱性もより高まります。

気密シート+気密テープ

断熱材の室内側に気密シートを貼ることで、室内で発生する水蒸気が断熱材に侵入するのを遮断し、断熱材や躯体の劣化につながる内部結露を防止してくれます。高気密施工が高い断熱性を実現するだけでなく、住まいの耐久性も高めます。



高い断熱性と気密性を実現し、適宜な換気を行えば、住宅の冷暖房効果を高め、省エネルギーな暮らしにつながります。